

科目	歴史総合	単位	2	対象	1年 普通科・染織デザイン科
目 標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
学習内容					
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。					
学習のワンポイント・アドバイス					
(1) 教科書を丁寧に読み込み、資料集の写真や資料を活用して理解を深めること。 (2) 授業における疑問点は、すぐに質問するように心がけて理解に努めること。 (3) グループ活動では積極的に発言をするよう意識すること。 (4) 新聞やニュースを見るように心がけ、社会課題や地球環境問題について自分の考えを持つようにすること。					
評価の方法					
次の(1)～(3)の観点を総合的に評価する。 (1) 「知識・技能」は、おもに定期考査で評価する。 (2) 「思考・判断・表現」は、定期考査と準拠ノート、授業における発表で評価する。 (3) 「主体的に学習に取り組む態度」は、授業態度やグループ活動の様子、意見発表などから評価する。					
使用する教科書、教材等					
(1) 教科書 『歴史総合 近代から現代へ』(山川出版社) (2) 補助教材 『明解 歴史総合図説 シンフォニア』(帝国書院) (3) ノート 『歴史総合 近代から現代へ ノート』(山川出版社)					
進路との関わり					
(1) 大学入学共通テストでは、地理歴史分野は「歴史総合」＋「地理総合」、「歴史総合」＋「日本史研究」、「歴史総合」＋「世界史研究」の組み合わせから選択することになる。 (2) 国立大学の二次試験・私立大学の入試試験に、選択科目としておかれる場合も想定される。(各大学・学部により科目は異なるので各自で確認する)					

